

あまがすき

We Love AMA

第 22 号
2016. 12

SPECIAL INTERVIEW

地域の安全・安心のため、防犯パトロール隊、自主防災会、ゴミゼロ運動など熱心に取り組んでいます。



「沖之島地区コミュニティ推進協議会」の長谷川澄雄さんは、3代目の会長として10年以上にわたりコミュニティの活動に携わっていらっしゃいます。温厚なお人柄で人望も厚い長谷川さん。住民の皆さんが楽しみにしている恒例行事や、長谷川さんの沖之島への思いをお聞きました。



沖之島地区コミュニティ推進協議会

長谷川 澄雄さん

Hasegawa Sumio



「稲作体験隊」の子どもたちは、種まきからお米になるまでの作業を体験。収穫祭では、そのお米で餅つき大会をします。

コミュニティ結成のいきさつは？

沖之島コミュニティは昨年二十周年を迎えました。当時、沖之島は住宅の建築ラッシュで、急激な人口増加が見られたんです。新しい住民とのコミュニケーションを図るために、安全・安心なまちづくりのために「協働の輪」を広めることを目的として結成しました。

沖之島の特色は、もともとあつた地域のクラブや団体が、そのままコミュニティの組織の部署を担い運営に携わっていることです。生活安全部、環境衛生部、文化部などがあり、責任を持って活動してくれています。

それから、文久神楽保存会の発足もコミュニティ結成の理由のひとつです。神楽屋形の修復をきっかけに、途絶えていたお囃子も復活させようと。太鼓の購入には宝くじ助成金を利用しました。今では、夏と秋のお祭りには笛や太鼓の音が響き、祭りを華やかに彩っています。伝統芸能の継承と住民の親睦のために復活させた

文久神楽は、その目的を果しています。

沖之島のイベントはいつも賑やかですね。

コミュニティの役割として、人が集い楽しく語り合う機会を提供することは大事だと思っています。「納涼夏祭り」をはじめ、神明社の参拝者にぜひいやおでんを振る舞う「年末・年始ふれあい広場」や芋煮会と餅つきをする「収穫祭」は、沖之島独自の恒例行事として住民の皆さんに大変喜ばれています。

活動への思いや、今後の展望についてお聞かせください。

少子高齢化の現在、今後コミュニティ活動にも影響が出てくることでしょう。充実した活動のためには、今まで培ってきた教訓を生かし、後継者の育成やコミュニティ全体の活性化を図っていくことが課題です。生まれ育った沖之島が、住み良いまちになるためのお役に立てるなら、こんな嬉しいことはないですね。

「協働の輪」のまちづくりを生きがいにい！

REPORT 今月の市民活動

あまテラススタッフが
各団体の活動の様子をレポート！
ホームページでは、もっとたくさん
紹介しているので、そっちも見てね



10/23 あまテラススクール「助成金講座」



助成金のとり方を実践

10月23日、30日、11月6日、あまテラス主催の「助成金を取ろう」講座が開催されました。第1回では、助成金の基本的な知識について、第2回はどんな事業で助成金を取得したいのか、そして第3回では実際に申請書を作成し、3日間を通して助成金取得までの流れを学んでいただきました。

助成金獲得のためには、上手なPRが大切。まずご自分の団体についてしっかり知り、そしてどんな活動をしたいのかを明確にしましょう。あまテラスでは、今後も相談窓口を設置する予定です。資金不足で困っている団体さんの、活動の幅を広げるお手伝いをさせていただきます。

10/29 もくもく座 国民文化祭公演

10月29日(土)、七宝焼アートビレッジで「第31回 国民文化祭 あいち 2016」のイベントのひとつとして、甚目寺説教源氏節 もくもく座による公演が行われました。

甚目寺で継承され続ける伝統芸能の説教源氏節。この日は、「うばかわ姫」という甚目寺にもゆかりのある演目が披露されました。繊細に動く人形たち。調子のよいセリフ回し。もくもく座のみなさんの日頃の練習の成果が存分に出されていました。精力的に公演を続けているもくもく座のみなさん。ぜひ一度、郷土の伝統芸能を見に行ってみてはいかがでしょうか？



甚目寺で受け継がれる伝統芸能

11/10 としえPARK

11月10日(木)、甚目寺西小学校のPTA教育学級で「楽しく弾んでエクササイズ」が開催されました。講師は、あまテラスに団体登録されている「としえ PARK」代表の高橋としえ先生。

バランスボールに座り、骨盤を立ててバランスを取りながらの足踏みやステップ。さらに手の動きも加わると、ふらついてバランスをとるのが困難に。先生の「笑顔で！」を合言葉に、皆さん一生懸命エクササイズに取り組みました。

バランスボールに座ることで、左右均等に筋肉がつき、骨盤のゆがみも整い、姿勢がよくなったり、肩こり解消の効果もあるそうです。普段使わない筋肉を動かしたことで、心身ともにリフレッシュできました！と、うれしいお声もたくさん出ていました。



楽しく弾んでエクササイズ

SCOOP INFORMATION

市民活動の知恵袋

登録団体さんが、自分たちの活動と関わって、ちょっと役立つ、知って得する情報をお届けします。市民活動の知恵をゲットしてください！

女性の救世主「おそそ様」とは？

今回、話題をくれる登録団体は
あま市ものしり検定実行委員会さんです

12月10日、あま市オリジナル子ども狂言「おそそ仁王」(作 やまかわさとみ)が初上演されます。演目にもある「おそそ」とは何か。みなさんは知っていますか？あまテラススタッフが調べてみました。

甚目寺観音に関係があるらしい？

あま市を代表する古刹甚目寺観音。尾張四観音の筆頭、南大門や三重塔は国指定の重要文化財、仁王像は福島正則が寄進したなど様々なお話が残っています。他にも、絵画や仏像など文化財の宝庫です。どうもその中に、「おそそ様」という仏様が祀られているようです。

伝説に彩られたおそそ様

おそそ様の由来は、食堂(じきどう)に祀られるびんずる様という説、孤児説、公家出身説など様々。最近では巫女さん説も言われているそうです。いろいろな言い伝えが、神秘的な印象を引き立てるおそそ様です。

おそそ様の素顔

甚目寺観音本堂の東側に、ひっそりと建っている釈迦堂。気を付けていないと通り過ぎてしまいそう。ご本尊の釈迦如来様の左側におそそ様はいらっしゃいました。普段は、小窓からしか拝むことができませんが、おそそ様は女性の肌荒れや赤ちゃんのあざの平癒にご利益があるといわれている仏様のことでした。真っ白なお顔のおそそ様を見ると、女性なら誰しもあやかりたいと思いますよね！



おそそ様が祀られている釈迦堂

あまテラスプレゼンツ 市民活動のいろは

第9回 仲間をつくれる場所はいろいろ

毎回、市民活動の基礎知識をお届けしているこのコーナー。あま市が掲げる「パートナーシップによるまちづくり」を進めて、住みやすく、楽しいあま市を一緒につくるためのヒントになりましたら。

一緒に活動する「仲間と出会いたい」と思ったら

「まちのために何かしたい！」と熱い想いを抱く人はたくさんいます。そうした人たちと出会える場所も、探してみるといろいろあるものです。興味のある団体さんのイベントにでかけて声をかけてみるのもよし。ちょっとじっくり話したいと思ったら、サロン、交流会、マルシェなどに足を運んでみるのもいいでしょう。あまテラスが実施している、月一のカフェや市民活動祭もそうした機会のひとつです。そんな機会のご紹介も、あまテラスでいたしますよ。



▲あまテラスカフェは毎月第1土曜日に開催中。どなたもご参加いただけます。



GRAPHICS あまテラス写真館

投稿写真



手話グループ美和
あま市健康福祉まつりにて



花長地区コミュニティ 公民館祭り



矢野雅巳「初冬の風景と虹」



あま市防災ネット
あま市健康福祉まつりにて



沖之島地区コミュニティ 収穫祭



整膚 和み 勉強会の様子

あま市市民活動センター あまテラスをご利用ください



市民活動団体の方は…

団体登録すると各種サービスを利用できます！

- センターの設備・機器を利用できます
白黒コピー(無料)、紙折り機、ラミネーターなど、各種機器を利用できます。打ち合わせスペースも無料で貸し出します。
- 会員募集やイベント告知をお手伝い
会員募集や集客を、ホームページでの告知などでお手伝いします。活動の取材もいたします。
- 助成金獲得などのご相談を受け付けます。



市民の方は…

市民活動に関わるきっかけをお手伝いします

- ボランティアできる団体をご紹介します
ボランティアできる場を探している方に、登録団体をご紹介します。活動に参加するためのお取次ぎもいたします。
- 広く市民に向けた各種講座を開催します
各種講座をあまテラス単独、もしくは登録団体と連携して開催いたします。詳細はあまテラスへお問合せください。

あまテラスに関するお問合せなど、お気軽にお寄せください。ホームページでは、日々、あま市の市民活動の最新情報をお届けしております。「あま市市民活動センター」で検索してみてください！

発行 あま市市民活動センター あまテラス

所在地: あま市七宝町遠島十坪 119-2 七宝産業会館 1F

TEL: 052-445-1900 FAX: 052-445-2030

Mail: info@ama-shiminkatsudo.jp

開館時間: 9時～17時

閉館日: 毎週月曜、祝日の翌日

イベント、講座の最新情報は、

ホームページで発信中！！

URL <http://www.ama-shiminkatsudo.jp/>



編集後記

今年も残すところ1ヶ月あまり…年齢を重ねると、時の過ぎるのも早く感じるのだそうです。市民活動祭を間近に控え、年末のあわただしさも今年は格別です。(高橋)